

ひろは

日本保育学会第64回大会
自主シンポジウム(本誌p.47-53 掲載)
参加者の感想文、一部ご紹介します。

◆保育の中の小さいけれど大切なことがちりばめられている『幼児の教育』、創刊第1号からの流れを長い時間をかけて追えたらと思います。(20代女性)◆私自身が歴史のある幼稚園に携わっており「伝統的」な難しさを感じることがあります。歴史をつなぐ中で「本当に必要な事は何か」という葛藤を繰り返し、原点にかえって振り返りつつ、大事だと思う人とつながり、大事だと思うことを伝えることが、次へ渡すバトンになるのだなと感じた。(30代男性)◆直接保育にかかわる領域のみならず、周辺領域、他領域の記事も楽しみにしております。その源のところで通じるものがあつた時、『幼児の教育』にさらに奥の深いものが成長されていくと思います。(50代女性)

お茶の水女子大学 社会人プログラムのお知らせ

現職保育者の方、保育に関心のある社会人の皆様。
お茶の水女子大学ECCELL(乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築事業)では現在、保育・幼児教育の現代的なニーズにこたえるユニークなカリキュラムを開講中です。
23年度の募集は終了しましたが、24年度以降も開講予定です。
前学期の詳細は2月初旬に下記URLにてご確認ください。
<http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji>
(電話03-5978-5949)
【(参考)2011開講科目】
「乳幼児教育・保育政策論」、「現代保育課題研究」、
「子どもと家族」、「実践音楽療法」、「保育メディア論」

おすすめ映画

『100000年後の安全』
(2009年 デンマーク、フィンランド、
スウェーデン、イタリア 79分)
監督・脚本 マイケル・マドセン
配給・宣伝 アップリンク

放射性廃棄物の埋蔵をめぐる未来の地球の安全を問いかけるドキュメンタリー。
2011年秋に公開予定だったが、福島原発事故が起き、原発に関する知識を得ることを必要としている人が多いと配給元が考え、2011年4月、渋谷アップリンクにて緊急公開。各地で順次公開中。(菊地)

おすすめの本

『白赤だすき小○の旗風』
後藤電二 新日本出版社 2008年
(講談社 1976年)

2010年7月に67歳で逝去された後藤電二による歴史的児童文学。幕末期、南部藩(岩手県)の苛政に対し小○(困る)の旗を掲げて蜂起した民衆の闘いを描いている。名もなく小さく弱い一人ひとりが共通の要求のもとに結束し、一歩もひかず、一人の犠牲者も出さず、要求のすべてを勝ち取っていく姿には、胸が打ち震え励まされる思いがする。(菊地)